

基盤整備と水田転作の活用で所得アップ

概要 Abstract

「1 ha以上の水田割合」は、約10%に！

本道では、各地域で**基盤整備**が進められ、
「**水田フル活用**」施策が推進されています！

その効果は…？

- ① **小麦と大豆の生産費**は、大区画化による作業能率の向上により、**低減**しました。
- ② 排水性向上等により、**田畑輪換**の導入が可能に。単収の増加により、**所得が増加**しました。



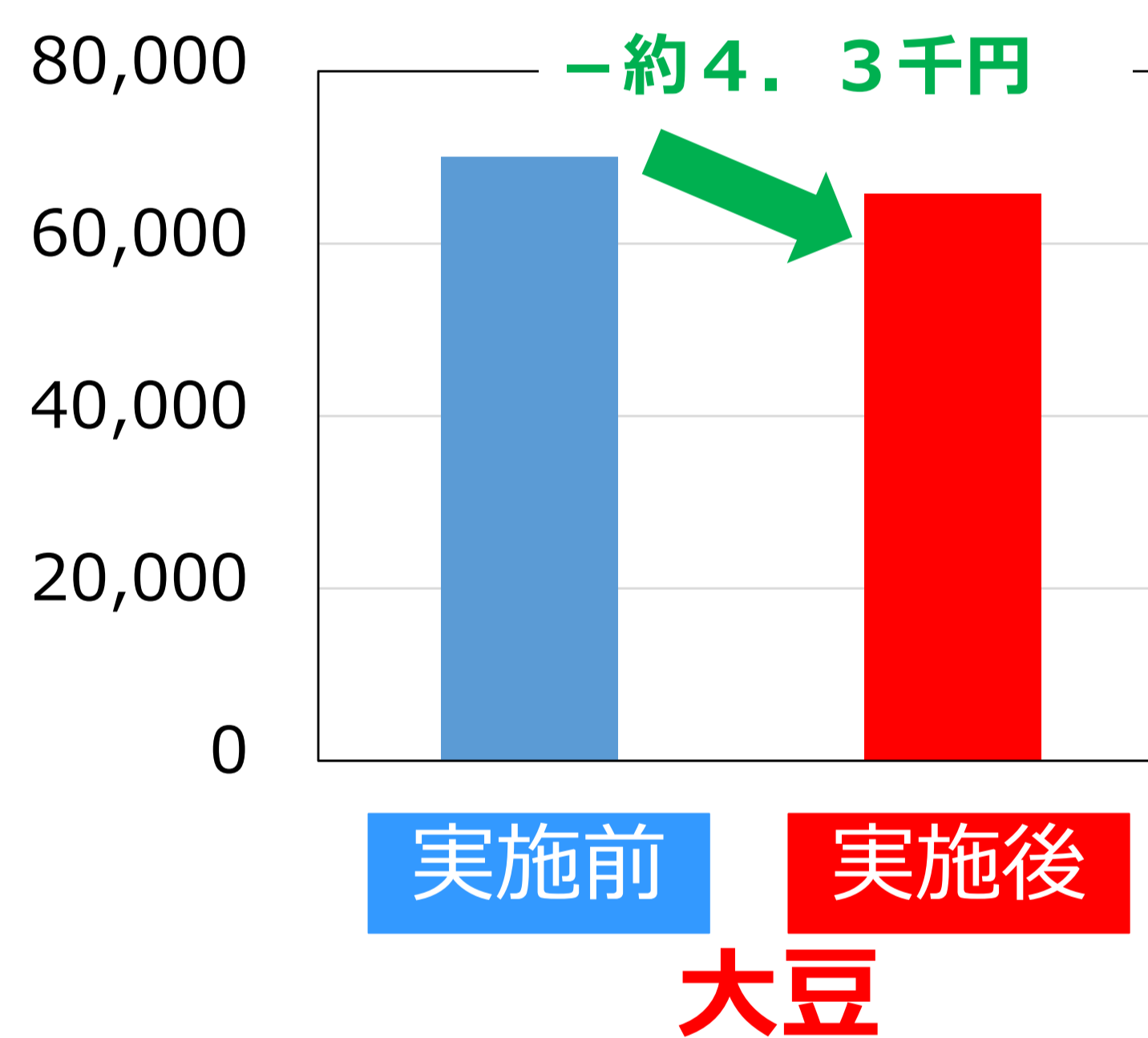
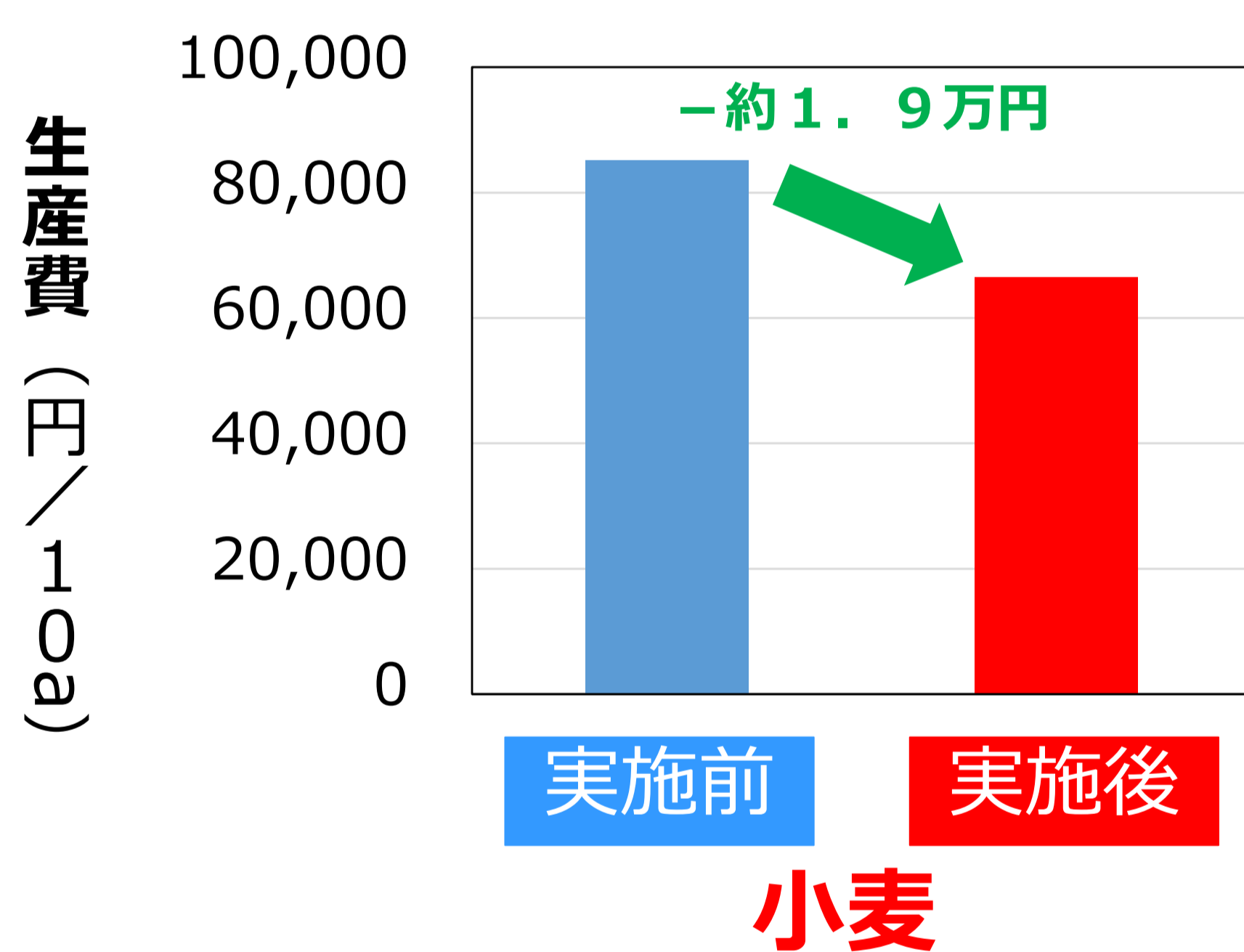
1 haを超える圃場での大豆生産

「水田フル活用」とは…？

農林水産省により実施され、**水田**で**麦**、**大豆**、飼料作物等を作付けする農業者に対して、交付金を直接交付することにより、**水田の有効活用**を推進し、食料自給率の向上を図る取組みのこと。

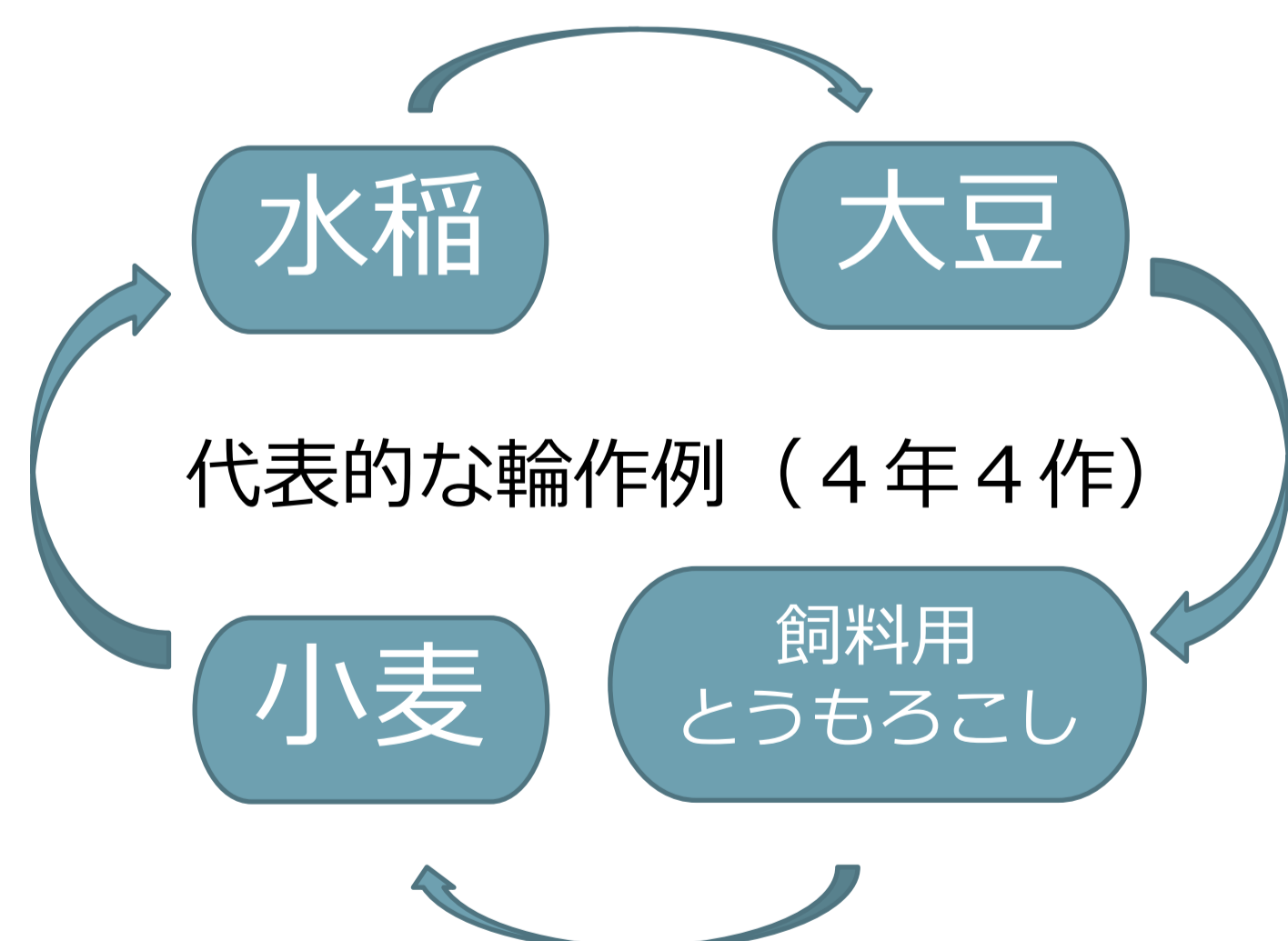
成果 Results

① 基盤整備による生産費の低減効果

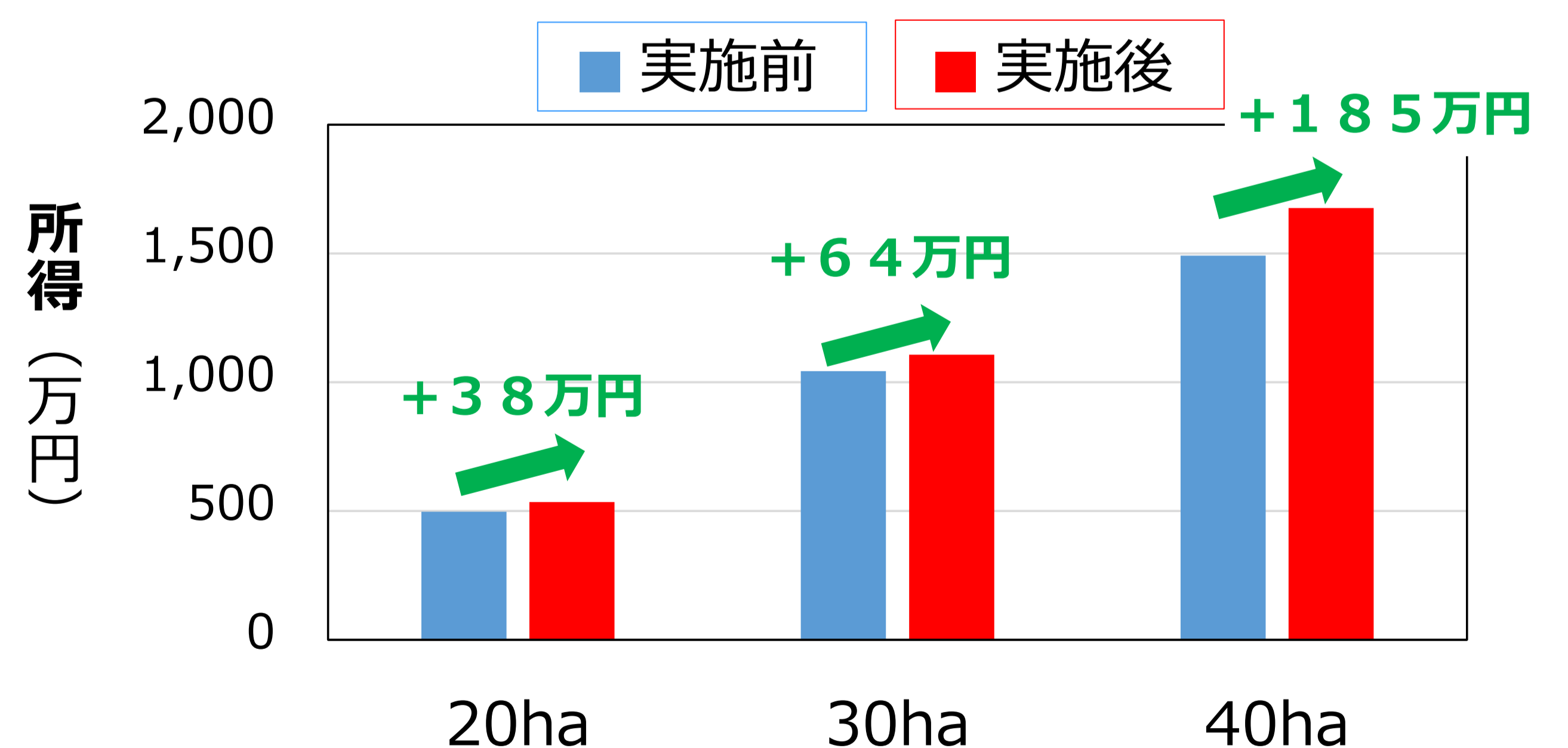


- 生産費の低減には、作業能率の向上による、労働費の低減が大きく貢献
- 単収の増加により、60 kg当たり生産費（生産コスト）も低減

② 基盤整備による所得の増加効果



- 水田基盤の維持と畑作時の排水性向上により、田畑輪換導入と単収増加が可能



- 単収増加と水田フル活用により所得が増加

普及 Dissemination

- ・ 収益性向上により、小麦・大豆の生産拡大が可能に！
- ・ 所得増加により、大規模水田作経営の確立が可能に！

連絡先 Contact

中央農業試験場
生産研究部 生産システムグループ
0123-89-2286
central-agri@hro.or.jp